

答 申 書 (案)

令和2年6月 日

網走市長 水 谷 洋 一 様

網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会
委員長 吉 田 穂 積

新庁舎建設基本構想の策定について (答申)

令和元年6月17日付けで当委員会に諮問がありました『新庁舎建設基本構想』の策定について、慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり答申いたします。

なお、基本構想の推進にあたっては、下記の事項について十分配慮されることを要望します。

記

- 1 新庁舎を訪れるあらゆる人に配慮し、バリアフリー・ユニバーサルデザインを基本として整備し、将来の人口減少も見据え、コンパクトかつ柔軟で効率的な新庁舎を整備していただきたい。

また、財源については、国の財政支援措置を活用するなど財源確保に努め、将来の財政負担を軽減させるように努めていただきたい。

- 2 新庁舎の建設場所については、地方自治法や市の関連計画との整合性などを確認し、様々な観点から議論を重ね、総合的に「金市館ビル跡地周辺敷地」と判断いたしました。

この結果、建設計画において、現市有地のみを活用する「A案」と、隣接する更地の民有地を取得し、現市有地とともに活用する「B案」で検討を行いましたが、市有地に隣接する更地の民有地を取得することで、建物の設計の自由度が高まり、低層階に窓口機能を集約できるなど市民の利便性がより向上することから、積極的に取得するように努めていただきたい。